

「指導例」を有効に活用した単元構成のアイデア

1 単元名

第6学年「やまなし」「資料：イーハトーヴの夢」（光村出版）

2 単元目標

- ・物語の情景や言葉の使い方に興味をもち、宮沢賢治の考え方や生き方を考えることができる。（国語への関心・意欲・態度）
- ・場面についての描写をとらえ、作品の中で使われている表現を味わいながら、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。（読む能力）
- ・目的に応じて、複数の本や文章を比べて読み、効果的な読み方を工夫することができる。（読む能力）
- ・文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。（言語についての知識・理解・技能）

3 指導にあたって

本単元は、宮沢賢治の作品である「やまなし」と、賢治について伝記風に描かれた「資料：イーハトーヴの夢」で構成されている。「やまなし」は、色彩語や比喩、擬声語・擬態語などの表現による賢治独特の色彩的で幻想的な情景描写や、対比的な構成が特徴の作品である。また、賢治自身の深い思想が濃く現れた作品でもある。児童にとって一読で理解することの難しい内容であるため、読解の手がかりとなる表現を取り出し、それらをつなげて豊かに想像させ、不思議さ溢れる世界に浸らせて楽しく読み進めさせたい。さらに、作品の随所に見られる比喩・擬声語・擬態語・音や様子を表す言葉の言い回しなどに気付かせ、言葉の使われ方や表現の効果についても学ばせたい。「資料：イーハトーヴの夢」は、賢治の生きていた時代の状況、思想や行動などについて書かれたものである。この資料から、賢治の生き方や考え方、理想としたことについて考えさせ、作品との関連に気付かせたい。

4 評価基準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・物語の情景や言葉の使い方に興味をもち、賢治の考え方や生き方について考えようとしている。	・場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 ・場면을比べて読み、作品の特徴や賢治の思いをとらえている。 ・複数の本や文章を選んで比べて読み、賢治のものの見方や考え方について考えている。 ・本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・語感、言葉の使い方に対する感覚について関心をもっている。 ・比喩などの表現上の特色について気付いている。

5 関連させる「指導例」

「賢治の生き方」（作成：滋賀県学校改善アクションプラン推進協議会授業改善部会 国語部会）

6 「指導例」の位置付け

「指導例」で扱う資料「宮沢賢治の伝記」は、賢治の生涯について簡単に書きまとめた文章である。単元の導入でこの文章を読む学習をし、賢治の生い立ちや考え方についておおまかにとらえさせたい。また、文章を正確に読むこと、自分の生き方(経験)と重ねて考えること、自分の考えを条件に合わせて表現することに慣れさせ、第四次の学習活動を抵抗なく展開することができるようにしたい。そうすることにより、児童が学習全体の見通しをもち、賢治の生き方や考え方について深く考えることができるのではないかと考える。

7 指導計画 (全8時間) ※太枠の部分は「指導例」を活用した授業

次	時	本時の目標	学習活動 (○印：評価規準 【 】：評価方法)	指導事項との関連
第一次	1 (本時)	資料「宮沢賢治の伝記」を読み、賢治の生き方について自分と重ね合わせて考え、理由や根拠を明確にして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 資料を音読・黙読し、叙述を正確に読み取る。 根拠となる言葉を見付け、賢治の生き方についての自分の考えをグループで話し合う。 話し合いを基に自分の考えを条件に合わせて書く。 ○自分の考えの基となる言葉を見付け、話し合っている。【話し合いの様子】 ○読んで考えたことについて、与えられた条件に合わせて、根拠を明確にして書いている。【ワークシートの記述】	[C 読むこと] エ [C 読むこと] オ
	2	資料「宮沢賢治の伝記」を読み、賢治の生涯を年表にまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 資料「宮沢賢治の伝記」から年号を抜き出し、それに沿って賢治の言葉や行動を整理してカードにまとめる。 整理したカードをもとに賢治の生き方や考え方についての自分の思いを発表する。 ○興味・関心をもって正確に読み、自分なりに感じたことを表している。【カードの記述】	[C 読むこと] エ [C 読むこと] オ
第二次	1	「やまなし」の題名と冒頭の一文から想像したことを発表し、全文を音読することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 「やまなし」の題名と冒頭の一文から想像できることを考え、発表する。 物語の内容をとらえながら全文を音読する。 ○題名と冒頭の一文から物語の内容を想像している。【発言の様子】 ○物語の内容をとらえながら全文を音読している。【音読の様子】	[C 読むこと] ア [C 読むこと] オ
	2	2枚の幻灯写真(「五月」と「十二月」)に描かれている内容を読み取り、作品の構成が考えられる。	<ul style="list-style-type: none"> 2枚の幻灯写真として描かれている内容について簡単な言葉や図で表わすことを通して、物語の構成を理解する。 ○文章に興味・関心をもって読んでいる。【学習に取り組む様子】 ○2枚の幻灯写真として描かれている内容について想像しながら読み取っている。【発言の様子、ノートの記述】 ○作品の構成をとらえている。【発言の様子、ノートの記述】	[C 読むこと] エ [C 読むこと] オ [伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項] イ(カ)

第三次	1	「五月」の場面を、「かにかの親子」の様子や登場する物や音などに着目して読み、谷川の情景を想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「五月」の場面を、「かにかの親子」の様子、登場する物や音などに着目して読み、谷川の情景や出来事について想像したことを発表し合う。 ○比喩表現、擬声語・擬態語などに着目し、情景を想像して読んでいる。【発言の様子、ノートの記述】 ○語感、言葉の使い方に対する感覚について関心を持っている。【発言の様子、ノートの記述】 	〔C 読むこと〕エ 〔C 読むこと〕オ 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕イ(カ)(ク)
	2	「十二月」の場面を、「やまなし」の出現で変化していく「かにかの親子」の様子や気持ちに着目して読み、谷川の情景を想像することができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「十二月」の場面を、「やまなし」の出現で変化していく「かにかの親子」の様子や気持ちに着目して読み、谷川の情景や出来事について想像したことを発表し合う。 ○比喩表現、擬声語・擬態語などに着目し、情景を想像して読んでいる。【発言の様子、ノートの記述】 ○語感、言葉の使い方に対する感覚について関心を持っている。【発言の様子、ノートの記述】 	〔C 読むこと〕エ 〔C 読むこと〕オ 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕イ(カ)(ク)
	3	谷川の情景を想像しながら「五月」と「十二月」の場面を比べ、共通点や相違点について感じたことを話し合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・水の様子や色、かにかの会話や様子などに着目して読み、共通点や相違点について考えたことを交流する。 ○「五月」と「十二月」を比較して読み、共通点や相違点を考えてノートにまとめている。【ノートの記述】 ○読んで感じたことや考えたことを交流している。【交流の様子】 	〔C 読むこと〕エ 〔C 読むこと〕オ 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕イ(カ)(ク)
第四次	1	「資料：イーハトーヴの夢」を読み、賢治の生きていた時代の状況、賢治の思想や行動などを読み取り、年表にまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・「資料：イーハトーヴの夢」を読んで、賢治の生きていた時代の状況、賢治の思想や行動、賢治の考え方などについて理解し、年表にまとめる。 ○文章を正確に読み、賢治の生き方や考え方を見出そうとして年表を作成している。【ノートの記述】 	〔C 読むこと〕エ
	2	年表をもとに、心に残ったことを交流し、賢治の生き方や考え方を探ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・年表をもとに、心に残ったことを話し合い、賢治の生き方や考え方を探る。 ○交流を通して、賢治の生き方や考え方を探っている。【交流の様子、ノートの記述】 	〔C 読むこと〕オ
	3	<p>「資料：イーハトーヴの夢」で考えたことをもとに、「やまなし」に描かれている賢治の考え方について、根拠を明確にして話し合うことができる。</p> <p>賢治の他の作品を読んで感じたことについて根拠を明確にして話すことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「やまなし」と「資料：イーハトーヴの夢」の内容を関連させ、賢治が作品の題名を「やまなし」とした理由を考える。 ・「やまなし」に描かれている賢治の考え方について根拠を明確にして話し合う。 ・賢治の他の作品を3つの観点を参考にして読み、感じたことを話し合う。(観点…作家の人生と重ねながら作品を読む、構成や表現に注目して読む、作品中の重要な要素に着目して読む) ○「やまなし」と「資料：イーハトーヴの夢」の内容を関連させながら、賢治の考え方や理想について、根拠を明確にして話し合っている。【交流の様子】 ○賢治の他の作品と比較しながら、根拠を明確にして話し合っている。【交流の様子】 	〔C 読むこと〕オ 〔C 読むこと〕カ 〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕イ(カ)

